

9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

事例1. 保健、健康、福祉などの部局による事例

●指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)の運営

- ・ のぼり、チラシ・リーフレットやポスターなどの準備
ホームページ、SNS、広報紙、デジタルサイネージ等を通じた普及・啓発
- ※保健・健康・福祉部局だけではなく、**環境部局**が運営することも多い。

●庁内における連携や調整を行う会議のとりまとめ・事務局

- ・ 熱中症はさまざまな部局にまたがるトピックであることから、庁内における連携や調整を行う会議のとりまとめや事務局業務

●保健師による、高齢者の集まるイベント、場所での普及・啓発

- ・ 老人クラブ、シルバー人材センター、交流サロン、いこいの家、体操教室、健康教室
…などの場でチラシ・リーフレットその他、うちわや簡易な温度計などを配布
- ・ 水分・適度な塩分の補給のすすめ
- ・ 適度な運動のすすめ

●民生委員・児童委員、社会福祉協議会による訪問(見守り・声かけ)

●ケアマネージャー、ヘルパーへの説明資材、グッズの提供

9. 部局ごとの熱中症対策の取組事例

事例1. 保健、健康、福祉などの部局による事例

- 保健師による、母子(乳幼児など)の集まるイベント、場所での普及・啓発

- ・乳幼児健診、定期健診、子育てサロンや保育所、児童館…などの場で
チラシ・リーフレットの他、ティッシュ、うちわや簡易な温度計などを配布

- 宅配サービス事業者との連携

- ・高齢者の自宅へ直接訪問する宅配サービス事業者(牛乳、乳製品、お弁当、巡回販売、郵便、保険、電気・ガス、水道検診など) による見守り、声かけ

- エアコンの新規購入・設置や修理への助成

- ・たとえば高齢者のみの世帯(※独居を含む)、障害者世帯かつ住民税非課税世帯で、かつ省エネ基準達成率●%以上、地元の業者からの購入…などの条件をつけて、購入金額の●%(最大●万円まで)助成。

☞応募条件をシビアにした場合「対象者がいない」「購入費用が高額になり過ぎる」というケースが考えられ、利用が伸びないこともある。